

教育研究所だより

宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

宮古島市立教育研究所は、今年度新体制でスタート致しました。本研究所での事業内容や取り組みの進捗状況、長期研究員の様子などを「研究所だより」を発行することによって、情報共有・連携を図って行きたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

令和3年度

本教育研究所の事業内容について

本研究所では、幼・小・中学校の教職員の長期研究員研修事業、教育相談事業、適応指導教室事業を中心に、各学校課題の解決に向けた援助を関係大学との連携協定事業等を活用しながら支援に取り組んでいます。

支援（援助）の具現化に向け

- ① 実態把握：
宮古島市の各園・小・中学校で、どのようなことが課題になっているか明確化する。（学校課題調査）
- ② 支援：
明確になった各園・小・中学校の課題解決に向け、本所がシンクタンクとなり、解決策を提案する。課題解決を図っていく際は、関係大学と連携を図り協力を得ながら、各園・小・中学校を支援していく。

提携大学と連携した

「学びのネットワーク」の構築

今年度は連携協定を締結した3つの大学から協力を頂き、各学校課題解決に向けた取り組みを行います。

琉球大学教育学部

「アドバイザースタッフ派遣事業」を活用した研究員への指導助言、各学校からの校内研への講師派遣要請等を行います。今年度は、幼児教育から小学校教育への学びの連続性をはかるため「保幼こ小連携プロジェクト支援事業」もスタートさせる予定です。



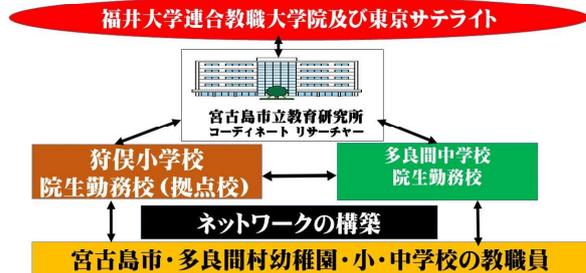
上越教育大学

各学校のニーズに合わせた遠隔研修講座や校内研修の講師招聘を行います。各学校の特色ある取り組みに対する研究者との接続が可能です。また、5月19日（水）には第1回の幼児教育セミナーが実施されます。詳細は校務支援掲示板をご確認下さい。（4/30 更新）

福井大学連合教職大学院

現在、院生勤務校である狩俣小学校を拠点校として教職員の育成を図る「学びのネットワーク」の構築も進めています。

院生・宮古島の教職員の育成を図る「学びネットワーク」の構築



また、宮古教育事務所の中堅研と連携してミドルリーダーの育成を目的とした「宮古島ラウンドテーブル」（8月予定）の開催も計画しています。これは、他県のミドルリーダーとの実践交流や研究協議を通して中堅教諭の資質・能力の向上と今後の実践交流の継続を期待しているものです。

以上のように関係機関と連携した学校課題の解決に取り組んでいきます。このようなネットワークの構築が今後、各学校が直接研究者とつながり、自立的な研修体制につながっていくことを理想としています。

次回は、本研究所員の紹介と長期研究員研修事業についてお知らせします。